
あ

和楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あ

【Nコード】

N2902Y

【作者名】

和楽

【あらすじ】

あかさたなはまやらあか

あ

外に出ると、雨足は予想より強くなっていた。

僕は傘を持ってこなかった自分の迂闊さを呪った。

霧雨に肩先を少し湿らすぐらいならと、家から最寄りのコンビニまで、一気に駆けてきたのだ。

外の様子を見るに、帰りは羽織ったパーカーを犠牲にしても、びしょ濡れは避けられないだろう。

意を決して、コンビニの自動ドアをくぐった。アリガトーゴザイマシタという感情を省いた声が、ドアの閉まるのと同時に消え、あたりは雨音だけとなった。

雨と風が、アスファルトの路面にさざ波を立てる。その上を、駆ける。僕の足はまるで大海を分かつ巨人のようだ。

車両は侵入禁止の通りだから、信号にも止められず、最短ルートがとれる。けれども、節約できた時間はたかがしれている。マンションに着くまでに、やっぱり僕は水浸しになった。

途中エレベーターに水溜まりをつくって、僕は何とか部屋へとたどり着いた。

「ただいま」

知っていたことだが、返事はない。1人暮らしを始めてあてがつて貰ったこの部屋に、僕以外の誰かがいたらチョットしたホラーである。

重みを増した体を引きずって洗面所へ向かった。

びしょ濡れの体をあれこれ言われる鬱陶しさはなくなったが、バスタオルを自分で取りに行く手間が生じる。濡れた廊下の掃除もだ。

どんな憧れた生活にも一長一短はあるらしい。

こういう時には、両親の庇護の厚さをひしひしと感じる。

僕はちょっと寂しいため息をついた。

脱いだ衣服をまとめて、洗濯カゴに放り込む。

手足の先はすっかり冷え込んでいて、僕は一目散にシャワーを掴んだ。

ここへ越してきてから、湯船に入ったことがなんどあるだろう。

万遍なく、熱いお湯を振りかけながら、ふとそんなことを思った。咎める人がいないから、生活のあらゆる所で、僕は怠慢になったのかも知れない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2902y/>

あ

2011年11月12日03時27分発行